

和光市協働事業実績報告書【平成 24 年度実施事業】

●事業概要

事業名	市民緑地「大坂ふれあいの森」の保全と活用
-----	----------------------

事業主体	事業実施団体	行政（担当課）
	白子大坂ふれあいの森の会	都市整備課

事業費	予算額	決算額
	320,000 円	320,060 円

事業内容 （実績）	「白子大坂ふれあいの森の会」は、「和光市協働指針」の趣旨に沿った地域住民主体の会であり、「大坂ふれあいの森」の日常に密着した清掃や安全パトロール、周辺住民の意見等を取り入れた保全の継続、また、市民が身近な自然に触れ合える環境の維持・整備を図るとともに、学習ガイドマップの作成、和光の特徴である湧水を知ってもらう様々な普及活動を行っています。 活用面では、子供たちが自分たちの住んでいる身近な自然（地形、地質、生態系など）を学ぶことのできる場の提供、湧水のあるビオトープを活用したフィールド学習などを行っています。 「大坂ふれあいの森」は、都市部にあって湧水と斜面林が一体となった和光を代表する生物多様性豊かな自然が残る貴重な森です。和光市環境基本計画で重視されている白子川左岸のグリーンベルトの中核的な要となっています。このことを考えながら継続的な維持管理、活用や広報を行っており、協働の目的に沿って事業は順調に行われていると考えています。なお、この事業に当たっては、「白子地区自然環境調査」やその後の保全活動等、様々な経験を有する「NPO 法人 和光・緑と湧き水の会」の指導・助言を得ながら活動していることを申し添えます。
--------------	---

●事業結果

●事業進捗

	当初		実績	
月	保全	活用	保全	活用
4	貴重種観察 記録、清掃、 湧水斜面林 の保全（年 間継続）	カタクリとニリンソウ を訪ねるエコツアー 14日午後カタクリの分 布観察と勉強会	貴重種観察と 記録、清掃、湧 水斜面林の保 全（年間継続・ 定例第3木曜 日）	エコツアー開催 小泉研和光市湧水地巡検 と講演会
5		フィールド学習・白子大 坂探検ガイドマップ編 集		ガイドマップ編集
6		マップ編集継続	畑跡地草刈り	
7		フィールド学習・身近な ビオトープ生き物観察	斜面林保全 ササ・枝刈り	フィールド学習・ 白子ビオトープ観察会 大坂ふれあいの森セミナ ー。高校教師研修会
8	キツネノカ ミソリ調査		キツネノカミ ソリ分布調査	ビオトープ表示板作成 取り付け
9		ガイドマップ編集継続	草、ササ刈り 植生調査	
10		表示板作成	植生調査 樹木にQRコー ド表示テープ 作成 3か所に説明板 設置	ふれあい街道事業和光の 自然と歴史ツアー 松本市長視察 市民活動見本市参加発表
11		表示板取り付け整備	毎週落ち葉掃 き	ガイドマップ校正
12		白子大坂探検ガイドマ ップ完成予定	落ち葉掃き 清掃	画像を使った中間報告書 提出
1		白子大坂ふれあいの森 の環境フォーラム、フィ ールド学習	観察ルート整 備。畑地調査と QRコード	ガイドマップ完成 湧き水サミットでガイド マップ紹介
2		報告書準備、ガイドマッ プ配布	カタクリ分布 調査 野草調査	大坂ふれあいの森セミナ ーと現地見学会 QRコードの紹介

				ガイドマップ配布
3		報告書作成マップ配布	カタクリ分布調査。安全確保の石段整備	和こたん事業参加 ガイドマップ活用 小中学校に配布

事業変更理由 *事業内容の変更や 計画どおりに進められ なかった理由をご 記入ください。	契約が5月1日となったため、4月の保全活動と活用事業については、自主活動として行った。 この事業は、自然の季節にそった計画で、季節が過ぎてしまうと開催できないために、当事業のフィールド事業は広報への掲示もあり7月からとなった。
--	---

●事業成果指標

		当初	実績
団 体	事業 成果 指標	ガイドマップの作成 定期的な保全活動 普及および活用	・ガイドマップ 2000 部作成。地域の特徴や美しい野草、生き物、湧き水に関する地質のガイドなど情報をまとめ、写真を使用し、初の「ふれあいの森」ガイドマップとなり、地域学習に役立つものとなった。 ・緑地湧水地の有効な保全が進み、環境に適応したカワモズク等が生育し、さらに地域住民が保全に参加するようになり、交流の場となって参加者の健康増進にも役立っている。 ・都市部では希な生物の棲む環境は、子供達の自然体験の場として活用され、ガイドマップの完成により、湧き水サミット、セミナー開催、和こたん事業に参加、活用が広がった。 ・専門の研究対象にもなっている。 (学芸大学・お茶ノ水大学)
	コメ ント	適切な保全がなされ、地域にも受け入れられ、地権者にも感謝される活動へと発展しつつある。	
担 当 課	事業 成果 指標	ガイドマップの作成 定期的な保全活動 普及及び活用	ガイドマップの完成 毎月第3木曜日に保全活動を実施 セミナーや観察会等の実施
	コメ ント	ガイドマップの完成は、大坂ふれあいの森を周知、PR するのに非常に効果的であり、また、貴重な自然の重要性を啓発する内容にもなっている	

事業を実施し、 想定以上の効果 があったか。	団 体	・はい 協働事業を進める中、「南西部ふれあい街道事業」「市民活動見本市」「和こたん事業」等があり、事業に対応した観察者受け入れの準備、清掃等の活動が役立った。 樹木調査をNPO法人和光・緑と湧き水の会と実施し、各樹木にQRコードをつけ、樹種、太さなど、携帯電話で読み取りを可能にした新しい手法を取り入れた。 ガイドマップが「湧き水サミット」、「和こたん・湧き水と歴史ツアー・草もちづくり」でも利用され、学校でも利用予定があり、学校やイベントへの配布に繋がった。
	担 当 課	・はい ガイドマップの完成は、大坂ふれあいの森を周知・PRするのに非常に効果的であり、貴重な自然の重要性を啓発する内容にもなっている。定期的な保全活動の結果、非常に豊かな植生が観察できる森となった。親子参加型の観察会等は、次世代につなぐ良いきっかけづくりとなっている。

その他の意見（事業成果について）

- 【団体】 この事業を行なったことにより近隣住民等がふれあいの森付近の道路を清掃するようになった。また、ゴミの投げ捨ても無くなった。このような近隣住民の意識の変化は、事業の効果と言えるだろう。
- 【団体】 近隣住民から、感謝の声をかけられることが増えた。地域の人々と密接な関係を築きつつある。
- 【団体】 保全と調査を同時に行なう事例はあまり見られないとのことで、当該事業は多方面から評価を受けた。
- 【担当課】 ガイドマップを作成したことにより、市内の子どもたち、若者たちの「目」に訴えることができるようになった。このガイドマップが市の将来を担う世代を育成するきっかけになると思う。

●協働の結果

(1) プロセスの積み重ね

	団体	担当課
①事業進捗状況の報告を定期的に行っていましたか。	はい	はい
②問題が生じたときに、すぐに話し合えましたか。	はい	はい

(2) 事業の広がり

協働事業の実施により、新しいつながりや連携が構築された場合、その内容を具体的に下の左欄に記入し、このつながりや連携を今後の協働事業の展開にどのように活かそうと考えているかを右の欄にご記入ください。

団 体	【具体的内容】 市民活動見本市パネル展参加、植生調査に参加。南西部地域ふれあい街道事業に協力団体として事前の清掃等を行った。ガイドマップは、和こたん事業にも加わるきっかけとなった。 南西部地域 NPO 連絡会交流まつりのでの「湧き水サミット」で、ガイドマップを配布し市内外に広がった。 白子小学校にマップを配布し、白子小桜まつり参加につながった。 東京学芸大学との連携調査を実施	【つながりや連携の活用】 広く市民に知ってもらう事で、地域活性化に貢献してきた。 さらに「ふれあい街道事業」「和こたん事業」等へ協力をすることで、「大坂ふれあいの森」の保全や清掃の重要性が増し、当活動の好ましい循環が生まれてきている。継続事業への発展が望まれている。 地域学習にガイドマップが生かされるよう、小中学校への協力を継続し、地域に根差した活動として展開していきたい。
担 当 課	【具体的内容】 ガイドマップの小学校等への配布	【つながりや連携の活用】 小学校等の環境学習の場となりえる。 次世代へのつながり

その他の意見

【団体】教育委員会に依頼され、市内の学校に転任して来た教員向けに市内の自然を紹介するセミナーを行なう予定がある。（夏休み実施予定）

(3) 市民満足度の向上

	団体	担当課
事業の受益者の満足を得ることができましたか。	はい	はい

受益者の満足度を調べるためにどのようなことをしたかを下欄にご記入ください。

団体	ビオトープ観察会の開催に際し、事前に小学校にチラシを配布し連絡した結果、小学生の湧水調べに役立てられた。子供達が観察会に参加した際に、生き物が豊富な森で生き生きと観察していた。 大坂ふれあいの森の地域住民に保全活動への参加を呼びかけた結果、保全への参加と交流が進んでいる。参加者の健康増進と人と人の触れ合う交流の場ともなっている。 保全整備により湧水特有の「カワモズク」生育環境を確立し、多くの観察者に観察の機会を与えることが出来た。 大坂ふれあいの森セミナーには、市内外から多くの参加者があり、「森」としての利用の歴史を学び、ガイドマップを使った現地見学会は、解りやすく大変好評であった。ガイドマップを、市内小中学校へ10部づつ配布後、第4小学校には3、4年生用に200部、白子小学校には、3年用に120部の要望がありお届けし、早速授業で活用されている。 白子小の桜まつりや地域で行われる「つつじまつり」にもガイドマップ活用の輪が広がってきている。 地域の方々にも配布し、美しいカラー版で、大好評。
担当課	セミナーや観察会で参加者と接し、受益者の満足度を得ていると感じた。

団体 担当課

事業の受益者以外の市民全体の満足度の向上を感じられましたか。 はい はい
 どのようなことで感じたかを下欄にご記入ください。

団体	日常の清掃において、通行人が感謝し挨拶を交わすようになり、ごみ投棄が減少した。 周辺急坂路（大坂）の落ち葉の季節にはたびたび清掃を行うことによって、歩行者の安全にも寄与している。 ガイドマップを看板としてふれあいの森の柵に設置したところ、通行者のこの環境への理解と関心が深まりつつあり、地域に浸透してきている。 都市部の一角に、立ち寄ることのできる多様性豊かな緑と湧き水の存在が、訪れた人たちに驚きと感動を与えている。
担当課	セミナーや観察会、ガイドマップ等の効果から、大坂ふれあいの森の利用が増していると感じる。

その他の意見

【団体】事業実施場所は、東京との県境に近い場所にあるため、市外からの訪問者も増え、満足の声をいただいている。

【担当課】もともと受益者だった人が参加者になった。

【担当課】去年度は白子おおさかふれあいの森への苦情は0件だった。0件という数字は
 珍しいことであり、そこからも近隣住民の満足度が読み取れる。

(4) 協働基本原則

「和光市協働指針」では、市民と市が協働を円滑に進めていくための以下の6つの基本原則を定め、これをお互いが理解し、常に協働基本原則に則って取り組んでいくこととしています。これらに則って事業に取り組めましたか。

	団体	担当課
①「相互理解の原則」	はい	はい
②「目的・評価共有の原則」	はい	はい
③「自立の原則」	はい	はい
④「対等の原則」	はい	はい
⑤「役割分担明確化の原則」	はい	はい
⑥「情報公開の原則」	はい	はい

役割分担について

当初	実績
事業として「ガイドマップ」作成全般 保全や観察会などの事業実施 チラシを作り広く市民への広報	当初の予定通り事業に取り組めた

役割分担の中で良かった点や改善点をご記入ください。

団 体	実施年度中は大きな事故がなく、協働事業により無事推進できた。 事業の中で、観察会への行政の参加を得て、ありのままの自然環境が理解された。 地域に根差した保全に、地権者、住民の理解と信頼が増す活動になった。
担 当 課	役割分担を細分化しすぎなかったことで、柔軟的な連携が可能となった

協働事業の実施にあたり、どのようなメディアを活用して事業のPRをしましたか。
その代表的事例を左欄に記入し、また、協働事業の実施により、事業の社会的認知度が向上したかどうかを、右の欄にその理由と併せてご記入ください。

団体	【PR事例】 広報わこうへの掲載 地域新聞市民新報紙に掲載 南西部地域「がるがり」掲載 市民活動見本市にパネル展示 チラシ作製と配布 協働推進員の協力のネット配信	【社会的認知度の向上】 広報で広く市民に知ってもらえた新聞の活用で 広域に広がった 解りやすいパネル作成好評展示 「大坂ふれあいの森」の存在が浸透し、湧き水と 斜面林の大切さの認識が高まってきた。
----	--	--

情報公開について、どのような手段で情報発信をしましたか。

担当課	ガイドマップ、広報、掲示板など
-----	-----------------

その他の意見

【団体】広報に力を入れたことが、来場者増につながった。当会会員の口コミ効果も大きかった。

(5) 協働の成果

協働することで、団体、市、市民それぞれにどのようなメリットがありましたか。

団体	【団体のメリット】 市との協働 市民緑地「大坂ふれあいの森」の保全と活用は、他のふれあいの森の保全活動と同様、あるいはそれ以上の信頼される活動になった。ガイドマップという見える形の成果と、地域の人と人の交流の場ができた。
	【市のメリット】 地元のボランティアによる安全安心の確保 きめ細かな、地域自然の構築と維持。市民緑地「大坂ふれあいの森」の活用が定着
	【市民のメリット】 身近な自然と触れ合える場が確保された。 自然について学ぶことのできる場ができ、ガイドマップにより教育的にも効果が期待できる。和光の特徴的な湧き水と斜面林が一体となった環境保持。

担当課	【市のメリット】 大坂ふれあいの森の利活用の幅が広がった。 事業を実施したことで、改善が必要だと思われること、思ったとおりできたことは何ですか。
団体	大坂ふれあいの森は、和光市を代表する自然と歴史を加味備えた場であり、これからも永くその保全、管理、活用が継続される必要があることから、単年度ではなく、予算の多少にかかわらず、改善が必要である。それにより市民へのサービスが向上し、地元や地権者との信頼関係が継続、発展に良い循環が保たれる。
担当課	特に問題なく順調に事業実施できた。

その他の意見

【団体】市のメリットとして、「コストパフォーマンスの良さ」も挙げられる。

(6) その他

団体の報告

上記以外で、協働事業の成果として特にアピールしたいものがあれば、下の左の欄にご記入ください。また、それが今後の協働事業の発展にどのように貢献すると考えているか、右の欄にご記入ください。

【成果のアピール】 小規模な緑地であるが、湧水と斜面林からなる貴重な場所としての価値が明確になった。 活動への参加者などの地域の人とのふれあいを造成し、福祉の面からの価値ある活動が実現した。	【事業の発展への貢献】 経験を積み重ね、「自然」を守る保全と活用、人と人とのふれあえる場の基盤が出来、これから継続、向上させたい。
--	---

担当課の報告

協働事業を実施した率直なご感想をご記入ください（良かった点、苦労した点、印象に残っていること、事務量的変化・協働に対する意識の変化等があったか等）。

事業実施団体とは、様々な事業を通して数年来の関係があり、お互いにある程度理解しているため協働事業として成立したが、信頼関係が浅い中での協働事業の実施は難しいものがあると感じる。